

- A5判・200ページ
〔カラー125ページ〕
- 著者撮影の写真多数収録
- 定価＝本体2,500円＋税
- ISBN978-4-87502-488-0

2017年
11月10日
新発売

【目次より】

- 図解
- 「しめ縄」から「しめかざり」への造形的展開
- 玄関用しめかざり形態分布地図

1章

しめかざりのかたち

- 宝珠〔広島・宮城・長野〕
- 打出の小槌〔長野〕
- 松竹梅〔京都〕
- 鶴〔大分・福岡・熊本・鹿児島〕
- 宝船〔徳島・秋田〕
- 俵〔山形〕
- 海老〔鳥取・京都・新潟・千葉〕
- 蛇〔滋賀・岐阜〕
- 杓子〔愛媛〕
- 馬〔三重〕
- 鉢〔静岡〕
- 懸の魚〔兵庫・香川〕
- お顔隠し〔群馬・埼玉〕
- 七五三縄〔長野〕
- おっかけ〔広島〕

ほか……5系統のしめかざりの
"素"の姿を写真付で紹介



〒169-0072 新宿区大久保2-4-12
新宿ラムダックスビル12F
tel:03-5155-8940 fax:03-5155-8941
www.kousakusha.co.jp

Shimekazari

新年の願いを結ぶかたち

しめかざり



新年の願いを結ぶかたち

しめかざり

森須磨子



2章

しめかざり探訪

- 山形 ▶ 稲作の苦難の歴史を超えて「俵じめ」に新年のエネルギーを蓄える
- 埼玉 ▶ 旧家の家長が代々受け継ぐ、あたりまえの「正月準備」
- 香川 ▶ 漁網を持つ手で稲藁を釣り、大漁と安全の願いをこめる
- 福岡 ▶ 島の鶴、街の鶴 自在に舞い、南の土地を寿ぐ



森 須磨子・もりすまこ

1970年、香川県生まれ。武蔵野美術大学の卒業制作がきっかけで「しめかざり」への興味を深めてきた。同大学院造形研究科修了、同大学助手を務め、2003年に独立。グラフィックデザインの仕事を続けながら、年末年始は全国各地へしめかざり探訪を続ける。本書の収録写真はすべて著者による撮影。自ら描いた絵本・たくさんのふしぎ傑作集『しめかざり』（福音館書店・2010）も好評。

2015年には香川県の四国民家博物館にて「寿ぎ百様～森須磨子しめかざりコレクション」展を開催。「米展」21_21 DESIGN SIGHT(2014)の展示協力、(株)良品計画でのしめかざりアドバイザー業務(2015)ほか、講座やTV・ラジオで語る機会も増えた。

2017年10月中旬からの「しめかざり～祈りと形」展(武蔵野美術大学 民俗資料室ギャラリー)に引き続き「新年を寿ぐしめかざり」展(11月23日～12月5日、かまわぬ浅草店)が開催される。



3章

しめかざりを知る

構造 ▶

釣り、作り、飾る……
藁の縄目に思いを込めて

装飾 ▶

扇・橙・海老・譲葉……
装飾それぞれにも意味が宿る

これまでとこれからの道 ▶

人、土地、時間を結び、
しめかざりはこれからも引き継がれる

*—イントロダクション と
1章：しめかざりのかたち に
英文解説が付きま。

